

No. 06 四季のおたより



今

年も端午の節句が近づいてまいりました。「節句」とは、季節の変わり目という意味。季節の変わり目には邪気が寄りやすいので、「節句」には、季節ごとの飾りとお供えものをして厄払いをし、無病息災を願う風習があります。さて、端午の節句には五月人形を飾りますが、なぜ鎧や兜を飾るのでしょうか。今回はその起源についてご紹介します。元々端午の節句は、菖蒲やヨモギなどの薬草を軒先へ吊るし、「菖蒲の節句」と呼ばれていました。鎌倉時代になると、菖蒲が武道を尊ぶ「尚武」に通ずるとされ、武家の間では武具は身を守るものであることから、魔除けや厄払いのお守りとなつたと言われています。

また、梅雨入り前に武具や甲冑を虫干しする時期と、菖蒲の節句が重なることから、季節の飾りが武具へと変わったのではないかともされています。このように、鎧や兜を飾るようになつたことが五月人形へと変化していったのです。今年も大切なお子様の幸せと健やかな成長を願って五月人形を飾ってみてはいかがでしょうか。

No. 07 新原今昔さんぽ

皆さんは「新原」という地名がどのようにして生まれたのか、その由来をご存知でしょうか。諸説ありますが、そもそも始まりは、今をさかのぼること約450年前。甲州(現在の山梨県)から当地に新原弥左右衛門という武士がやってきて、その苗字が地名になったと言われています。

★

時は元亀3年(1572年)12月、甲州から遠江に侵攻した武田信玄の軍勢と、浜松城を拠点とする徳川家康の軍勢による「三方ヶ原の戦い」が起こりました。前号「天星マガジン」でもご紹介したように、戦いは武田の勝利に終わったのですが、この時、信玄は一人の家臣にこう命じました。「おぬしは徳川方の動きを抑えるため、当地に残れ」。そう命じられた家臣こそ、新原弥左右衛門その人だったのです。

弥左右衛門は、一族の菩提寺として境内に「諷訪山(後に潤泉山)瑞應寺」を建立。現在、同寺の境内には弥左右衛門の墓と、大正時代に子孫の安間哲郎氏が建てた記念碑が残されています。

※今回の記事は新原小学校「新原成立の由緒」

Episode.3
【新原の始祖は甲州の武士、新原弥左右衛門】

郎党とともに、当地に残留しました。やがて弥左右衛門ら旧武田の家臣は、武士の身分を捨て、農民として生きることを決意します。そして、かつての敵である家康に謁見を申し出て、次のように言いました。「私たちはもはや刀を持つつもりはありません。これからは農民として村づくりに励みたいと存じます」。

この潔い言葉にいたく感じ入った家康は、「あいわかった。その方を郡奉行に任ずるゆえ、皆で開墾に励め」と言いました。これに感激した弥左右衛門らは、一生懸命に鍬を振るい、瘦せた黒土を耕します。そうした努力はやがて実を結び、天正8年(1580年)、「駿玉郡新原村」を拓いたとされています。

弥左右衛門は、一族の菩提寺として境内に「諷訪山(後に潤泉山)瑞應寺」を建立。現在、同寺の境内には弥左右衛門の墓と、大正時代に子孫の安間哲郎氏が建てた記念碑が残されています。

※

今回の記事は新原小学校「新原成立の由緒」



瑞應寺の境内に残る
弥左右衛門の墓(手前)と記念碑

Powered by Tenboshi Co., Ltd.

浜北区新原よりお届けする、地元の“イイネ！”通信。

[テンボシ マガジン]

vol.10

Mar. 2023

No.

01 編集長オオツカのご近所探訪記 file#05

75歳 / 八千代会(新原の老人会)
下善今昔懇話会

高林 吉廣 さん

生まれて75年間、新原に在住。



新原小の校長先生が
つくりました。



まちの歴史をひもといた
「新原成立の由緒」です

大塚：本日は八千代会下善今昔懇話会の世話を人務められている高林様

に、新原の歴史を伺っていきます。まず初めに、下善今昔懇話会とはどういった会なのでしょうか。

高林：八千代会内の組織で、故郷の歴史を勉強したり、最近の出来事について会員の方と懇談したりしています。

大塚：新原は元々どの様な土地だったのでしょうか。

高林：かつて新原は未開の魔の原と呼ばれた地でした。水源がなく、土壤も黒ボク土だったため、米や作物が良く育たなかったのです。振り返ると、稻作が始まってからの日本の歴史は、イコール米の歴史でもありました。主食である米を確保するため、人々は米が作れる土地に集まり

栄えていく。反対に米が作れない新原は未開拓のまま残されたのです。

大塚：新原の開拓が進みだしたのはいつ頃なのでしょうか。

高林：東原では縄文時代には既に人が居住した跡があり、本格的な開拓は江戸時代の初期からではないでしょうか。明治時代に、実業家の金原明善が天竜川の治水事業を行ったことにより、新原の土地が活用され始めました。治山治水のため、天竜川の山間部にスギやヒノキを植林したことから、新原で苗木が育てられるようになりました。それがきっかけで植木産業が発展します。

そして昭和に入り、土地改良事業が始まることで農業が盛んになりました。

大塚：近年になって新原に住む人も増え、町は発展してきたわけですね。高林さんにとって新原とはどのような土地ですか。

高林：最近、一部で水害の被害が出ましたが、それを除けば災害の心配



明治32年頃の地図

がない土地です。適度に緑があり、交通や生活の利便性も良く、とても住みやすい土地です。

大塚：なるほど。私たちがどのような土地で事業を営んでいるのか知りたいと思った方は「八千代会下善今昔懇話会」が開催している、一般の方々を対象とした公開講座に是非、参加してみてはいかがでしょうか。本日はありがとうございました。

<発行>

<HP>

Q 天星製油株式会社

検索



T434-0003

静岡県浜松市浜北区新原 3833-1

TEL : 053-586-9911

<http://www.tenboshi.com/>

天星Magazine vol.10 2023年3月号

※この冊子が不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルにご協力ください。

本記事は撮影時のみマスクを外しています。ご了承ください。

No. 02 天星 News Topics

天星製油の最新のニュースをお届けします！



森とアースへの ECO プロジェクトについてご紹介させていただきます。

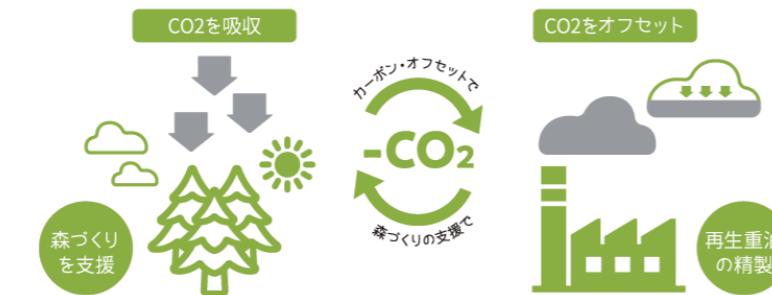
このプロジェクトは全国オイルリサイクル協同組合が主催し、森林保全に力を入れる自治体の植林、林道整備、伐採などの活動の支援しています。

全国オイルリサイクル協同組合は、廃油の処理やリサイクル事業を通して地球環境問題に取り組む企業等が参画しており、当社もこの活動に参加しています。そもそも、私たちはなぜ森林を大切にしないといけないのでしょうか。

森林には光合成を行うことで CO₂を吸収する力があります。樹木を適切に伐採したり、必要な場所に植林するなど、保

全活動を行うことで、大気中の CO₂を削減することが可能となります。森とアースへの ECO プロジェクトは、森林を通して CO₂の排出量が少ない社会（脱炭素社会）作りをしているのです。

天星製油では、これまでの廃油リサイクルによる循環型社会構築にとどまらず、地球温暖化防止のため脱炭素社会実現にも一層の貢献活動を行ってまいります。



日本の森づくりと脱炭素社会の構築に貢献

No. 03 「旬」な天星スタッフご紹介！



大場慎也
営業1課

Q お仕事内容は？
タンクローリーで客先から廃油や廃アルカリを回収しています。昨年11月に工場の内勤から異動になったばかりなので、現在は補助として、先輩たちが回り切れないお客様を担当しています。



久米泰弘
エコメンテングループ

Q お仕事内容は？
地下タンクの清掃や油圧機器のオイル交換、油水分離槽の清掃など、油関連機械、設備の清掃メンテナンスを行っています。また、油水分離槽のメンテナンス窓口として、お客様と日程の調整等も私が担当しています。

Q 最近のトピックスは？

去年から一口馬主を始めたことです。競馬自体は中学2年生の頃から好きで、現在に至るまで25年間見続け、間接的ではありますがあついつい馬主になってしまった。先日、ちょうど出資した馬の2勝目を掛けたレースがあったのですが、なんと3番人気になりました。これは勝てるかもしれない！と思って興奮したのですが、結果は8着と振るわず肩透かしを食らいました。（笑）今後の活躍に期待ですね。

Q これからの抱負をお願いします！

異動に伴って大型免許を取得したばかりで、タンクローリーに乗り始めてまだ1年足らずです。これからは安全第一で、無事故無違反の運転技術を磨いて行きたいです。大型車を運転する身として、安全運転に努めることは責務なので、まずは運転技術の向上に努めます。また、お客様の窓口である営業としてのスキルも、業務の中で伸ばして行きたいと思います！

しています。回収範囲は西は愛知県西尾市や岡崎市から、東は静岡県袋井市までの広い範囲となります。

Q 最近のトピックスは？

やりたかった仕事が出来ていることです。私の父親がトラックの運転手として働いていたため、小さな頃より、私自身もいつかトラックの運転手として働きたいという憧れがありました。現在の仕事は私が思い描いていた理想そのものなので、とても楽しく、やりがいを持って毎日を過ごしています。

Q これからの抱負をお願いします！

異動に伴って大型免許を取得したばかりで、タンクローリーに乗り始めてまだ1年足らずです。これからは安全第一で、無事故無違反の運転技術を磨いて行きたいです。大型車を運転する身として、安全運転に努めることは責務なので、まずは運転技術の向上に努めます。また、お客様の窓口である営業としてのスキルも、業務の中で伸ばして行きたいと思います！

No. 04 天星の「スゴ技」【オイルエレメントの処理】

自動車を動かすために必要不可欠な部品の一つに、オイルエレメントという部品があります。皆さんも車検等で交換された経験があるのではないかでしょうか。今回は、使用済みとなったオイルエレメントがどのような工程でリサイクルされているかについて、わかりやすくご説明します。

オイルエレメントは車のエンジンの内部にあり、エンジンオイルが汚くならないようにろ過するフィルタです。オイルエレメントは、ろ材のフィルタエレメントやゴムパッキンなどの部品で構成されています。使用済みのオイルエレメントはエンジンオイルを含んでおり、リサイクルするためにはパーティゴニに分解し、油を取り除く作業が必要となるのです。この処理に活躍するのは、当社がメーカーと共同開発した「自動切断機」と「圧縮機」です。まずは「自動切断機」で外側のエレメントケースを切断し、外側のケーシングと内側のフィルタやゴムパッキンに分解します。分解されたフィルタにはまだエンジンオイルが染み込んでいるので、その油を「圧縮機」でフィルタから回収します。その後、ケーシングは鉄資源としてリサイクルされ、油は再生重油の原料となります。フィルタやゴムパッキンは、最終的には道路の路盤材等へ生まれ変わります。

「自動切断機」と「圧縮機」については、当社のHPで動画でも紹介しておりますので是非ご覧ください。



自動切断機で
エレメントケースを切斷中！

オイルエレメント内部

No. 05 環境保全 Report 【環境保全協定】

企業連絡会

今年度も環境保全協定に基づき、新原下善自治会と弊社の企業連絡会を2月2日（木）に開催いたしました。1年間の運営概況や環境測定結果、環境アンケートの結果などを報告し、問題のないことをご確認いただきました。また、工場内を見学していただき、実際の運営、処理状況に問題のないことをご確認いただきました。



環境保全協定 覚書の締結

先だってご報告いたしました住民説明会への意見書を確認したところ、本計画に問題がないことを近隣の皆様にご理解いただけました。その後の1月16日環境保全協定 覚書の締結を以って、「浜松市廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防と調整に関する条例施行規則」に係る一連の手続きが終了したことをご報告いたします。



環境測定結果

項目	放流水		観測井戸水	自家用井戸水	排出ガス
	生活環境項目	重金属 / 挥発性有機物			
実施日	2022.12~2023.2	2022.12	2022.12	2022.12	2022.12
測定結果	○	○	○	○	○